



# こんなときは

## 製品内に記憶されている「スマートフォンとの通信設定と計測データ」をすべて削除したいとき

引っ越しや製品を廃棄する場合など、製品内に記憶されている「スマートフォンとの通信設定と計測データ」をすべて削除したいときは「ペアリング初期化」を行ってください。(P.41)

### お知らせ

- ペアリング初期化を行うと、登録されている全員の「スマートフォンとの通信設定と計測データ」が削除されます。
- 特定の個人番号情報のみ削除したい場合は、サポートページ(P.16)のヘルプを参照してください。

## 凍結予防をするとき

外気温が0 °C以下になるとときは、凍結予防を行ってください。

- 便器の種類によって凍結予防のしかたが異なります。便器の種類に合わせて、作業してください。

### お願い

- 外気温が0 °C以下になるとときは、節電しないでください。(製品が破損するおそれ)
- 周囲の温度が0 °C以下にならないよう、トイレ内を暖めるか、凍結予防を行ってください。
- 作業前に、「オート便器洗浄」(P.29)「オートふた開閉」(P.31)を「切」にしてください。

## 流動方式(ヒーター付便器・水抜併用方式以外)

便器とウォシュレットの水を、一定の間隔で自動で流して、凍結を予防する方法です。

### ■設定のしかた (P.36)

- リモコンで「凍結防止」を「入」にしてください。

凍結防止中は、次のように作動します。

- 「運転」ランプが点滅する
- 約10分間隔で便器洗浄(約4.8 L)する
- 約50 mlの水が約5分間隔でノズル付近から出る(ノズルは収納したまま)



## ヒーター付便器・水抜併用方式

### 1 水抜栓を操作して、給水を止める

#### お願い

- 止水栓は開けたままにしておいてください。(製品内部の水が抜けずに凍結破損するおそれ)



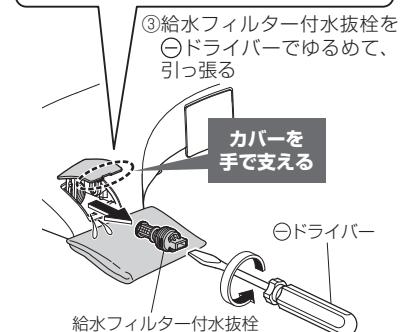
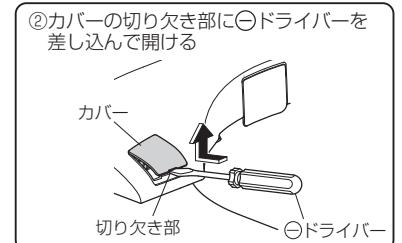
### 2 ノズルきれい 押す

- 給水管の圧抜き

### 3 電源プラグを抜く

### 4 配管の水を抜く

- 便座・便ふたを開ける



# こんなときは

## 凍結予防をするとき

### ヒーター付便器・水抜併用方式 (つづき)

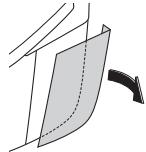
#### 5 給水フィルター付水抜栓を取り付け、カバーを閉める

- ①給水フィルター付水抜栓を押し込み、  
②ドライバーで確実に締める



#### 6 電源プラグを差し込む ・「運転」ランプが点灯する

#### 7 すっきりパネル(右)を取りはずす



#### 8 タンクの水を抜く

- ・すっきりパネル裏面のラベル  
「タンク内水抜き作業手順」参照

#### 9 便座温度を「高」にする (P.20)

- ・保温のため、作業後は便座・便ふたを閉めておく

#### ■再度ウォシュレットをお使いになるときは ・再通水が必要です。(P.60)

#### お知らせ

- ・ヒーター付便器は室温が5 °C以下になると自動でヒーターが入ります。
- ・凍結のおそれがないときは、ヒーター付便器の電源プラグを抜いておいてください。

## 長期間使わないとき

別荘などのトイレを長期間使わないときは、水抜きをしてください。

(製品内の水が腐敗して皮膚の炎症などを起こす原因) (凍結して製品破損などを起こす原因)

〔お願い〕・凍結のおそれがあるときは、凍結予防を行ってください。(P.57) (製品が破損するおそれ)

〔ご注意〕・「お掃除リフト」(P.45)で本体が上がった状態での水抜きはしないでください。

### 水抜きのしかた

#### 1 ■流動方式(ヒーター付便器・水抜併用方式以外)のとき 止水栓または元栓を閉める (P.4)

#### ■ヒーター付便器・水抜併用方式のとき 水抜栓を操作して、 給水を止める (P.57手順①)

#### 〔お願い〕

- ・止水栓は開けたままにしておいてください。

#### 2 を押してタンクの水を 抜く<sup>※1</sup>

#### 3 押す (給水管の圧抜き)

#### 4 電源プラグを抜く

#### 5 配管の水を抜く (P.57、58手順④⑤)

#### ■凍結のおそれがあるときは

- ・便器のたまり水(封水)に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。  
(不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、廃棄処分してください。)

#### ■再度ウォシュレットをお使いになるときは

- ・再通水が必要です。(P.60)

※1 「便ふた閉止後洗浄モード」を「入」に設定しているとき、便ふたが閉まったあと便器洗浄します。